

Weekly Reports 2024-2025



2024-25年度 RI会長:ステファニー A. アーチック/地区ガバナー:八坂 誠徳
加古川ロータリークラブ会長:大庫 隆夫 / 幹事:山本 亜也夫
〒675-0064 兵庫県加古川市加古川町溝之口800番地 加古川商工会議所会館5F
TEL 079-423-0661 FAX 079-423-0677 e-Mail kakogawa@rotaryclub.ne.jp

令和6年7月23日(火) 晴 No. 4



▲会長挨拶



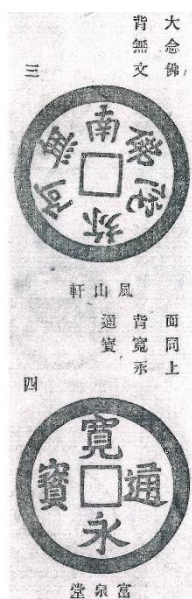
▲矢坂ガバナーと



矢坂ガバナー・山口代表幹事
奥田地区委員会幹事

会長の時間

会長 大庫 隆夫



第四回 信仰心 その一 矢坂ガバナーをお迎えして

念仏銭、題目銭、寛永通宝

矢坂誠徳ガバナーは臨濟宗のお坊様でありますので、今日はお金の不思議な効用のことをお話します。

貨幣には経済的な用途と経済外的な用途があることはご存知でしょうか。貨幣は給与賞与として人々を潤わせ物品を購入する、納税に使用する、商工貿易の取引に使用される等、経済の基となる血液のようなものであります。

しかし貨幣には経済外的な用途に使われる例もあります。

神に祈るには御賽銭、冥土の三途の川の渡賃は銭六文(六道銭ろくどうせん、りくどうせん)、トレヴィの泉へコインを投じる、地鎮の為に埋納する等々、貨幣には神仏世界との交信

の用途があるのです。

六道銭、今は紙の六文銭をお棺に入れるのですが、昔は本物の寛永通宝六枚を棺に入れていたので古いお墓から発掘された鍔銭がよく出て来ます。寛永通宝とは違う念仏や題目を描いた埋葬専用の穴銭もあります。

柳田國男 「青年と学問」より

「我々の先祖はその一特徴として、いまだ生まれざる子孫を愛し、その繁栄を希いその安全の計をたてた。彼らの最も恐れたのは家衰え子孫愚かにして、死後に追慕してくれる者の次第になくなっていくことだった。そうして人間らしくまた男らしく、欺かず怠らず、神と秩序とを重んじおれば、すなわち家に幸いあって後衛たる我々も永く恩恵を受けるものと信じていたのである」。

コロナがきっかけで、葬儀は家族葬が増えて、墓仕舞いも増えてきたようです。若い方々の宮離れ、寺離れも多いように思います。これからの時代に必要なのは信仰心と家を守るという思想ではないかと強く思うのです。

幹事報告

- 1) 次週30日(火)の例会はありません。8月1日(木)の納涼例会に例会変更となっております。納涼例会は午後6時～ 場所;みとろの丘カムズレストラン、送迎バスは午後5時に加古川駅北ロータリー出発です。ご出席の皆様、よろしくお願い致します。
- 2) 地区より「大阪・関西万博開幕祭のご案内」と「第22回ロータリー全国囲碁大会のご案内」が届いていますので回覧します。大阪・関西万博開幕祭の申し込みをされる方は例会場受付備忘録にご記入願います。

ニコニコ



- | | | |
|---|---|--|
| 省 | 略 | ☺ 多額のニコニコを頂いております。 |
| 省 | 略 | ☺ 矢坂誠徳ガバナー、山口代表幹事、奥田さん、ようこそいらっしやいませ。 |
| 省 | 略 | ☺ 梅雨も明けました。皆さん、暑さに負けずお元気で!! |
| 省 | 略 | ☺ 矢坂ガバナー、山口代表幹事、奥田地区委員会幹事、ようこそ加古川へ! 本日よろしく願いいたします。 |
| 省 | 略 | ☺ 矢坂誠徳ガバナー、山口宰代表幹事、地区委員会幹事奥田郁三様、本日は宜しくおねがい致します。 |
| 省 | 略 | ☺ 矢坂誠徳ガバナー、山口宰代表幹事、奥田郁三地区委員会幹事、本日は宜しく願い致します。 |
| 省 | 略 | ☺ 矢坂ガバナーようこそいらっしやいました。 |
| 省 | 略 | ☺ 矢坂ガバナー、随行者の山口代表幹事、奥田委員会幹事、本日はよろしく願いします。 |
| 省 | 略 | ☺ 矢坂ガバナー、山口代表幹事、奥田随行者をお迎えした喜び。 |
| 省 | 略 | ☺ 古庄さん先日は大変お世話になりました。お陰様で念願の TV 出演ができました。BAN-BANTV じゃないのが残念ですが…。 |
| 省 | 略 | ☺ 古庄さん先日はありがとうございました! |
| 省 | 略 | ☺ テーブルの花いただきます。 |

ニコニコ パートII リクエスト&アンサー

本日はありません。

以上12件 ¥26,000-
本年度累計¥294,000-

出席委員会

- | | | |
|-----|--------|--|
| ☆ 今 | 週 | 会員数 75 名 出席 49 名 出席免除 10 名 欠席 16 名 |
| ☆ 欠 | 席 | 者 省 略 |
| ☆ 前 | 々 | 週 会員数 75 名 出席 49 名 出席免除 13 名 欠席 13 名 |
| ☆ ゲ | ス | ト 国際ロータリー第2680地区ガバナー 矢坂 成徳氏
随行者 代表幹事 山口 宰氏(神戸西 RC)
地区委員会幹事 奥田 郁三氏(神戸西 RC) |
| ☆ | メイクアップ | 2023-24 第5回環境の保護小委員会・懇親会 6/12 芝本
IYFR 神戸フリート JAPAN 第31回総会・懇親会 7/11 岡田
2024-25 年度米山記念奨学セミナー及び交流会 7/21 水川、中原 |

親睦活動委員会

例会場当番

8月 1日(木) 長谷川吉・橋本直

8月 6日(火) 平崎・稲益



プログラム委員会

本日7月23日(火)	7月30日(火)	8月6日(火)	8月13日(火)
ガバナー 公式訪問	例会変更(日時・場所変更) 納涼例会 8月1日(木)午後6時～ 於;みとろの丘カムズレストラン 親睦活動委員会担当	新会員 自己紹介 漣・松崎誠担当	例会取りやめ [定款第7条 第1節(d)]

震災からの復興に取り組むトルコでロータリーが支援を継続

水、教育、農業用品、各種設備のために 400 万米ドルを超える資金を充当

文： **Etelka Lehoczky**

昨年、トルコとシリアで発生した震災の後、ロータリー会員による寄付や救援活動は、支援が必要とされる場所で希望がもたらされていることを示すものだと、同国を訪れたゴードン・マッキナリー2023-24年度RI会長は述べました。

「トルコのハタイ県でロータリー会員にお会いし、これらの会員がこれからも地域の復興に力を尽くしてくれることを実感した」と、4月に被災地を訪れたマッキナリー会長。会長はまた、ロータリー会員が支援した幼稚園、職業訓練校、移動キッチン、そしてベーカリーを視察しました。今回の震災で大きな被害を受けた人びとのために、ロータリー会員が希望をもたらしてくれていることに感謝している」と、マッキナリー会長は述べました(2023-24年度のテーマは「世界に希望を生み出そう」)。

55,000人以上の死者を出した2023年2月の震災以来、ロータリーは被災地域を支援するために400万米ドル以上を充当してきました。シリアにはロータリークラブがないため、支援活動はトルコ国内に限定されました。会員たちは、被災者のためのコンテナ住居や水処理プラントの設置、農家への苗木や牛の提供、病院への機器の提供、学生へのコンピュータ寄贈、動物クリニックの開設など、さまざまな支援を行いました。

マグニチュード7.8の地震が発生し、ロータリーは即座に災害救援基金を設立して270万米ドル以上の寄付を集めました(現在、同基金への寄付はお受けしていません)。さらに、総額約140万米ドルのグローバル補助金も活用されました。

「ロータリー会員は、被災状況を目の当たりにするとすぐに駆けつけて支援を提供してくれた」と、イスケンデルン・ロータリークラブ(トルコ)の会員、セジン・アシオウルさんは話します。「実に機敏かつ迅速で、それが多くの人を支援へと促しました」



トルコを訪問したゴードン・マッキナリー2023-24年度RI会長とパートナーのヘザーさん。トルコは2023年の地震で甚大な被害を受けました。2024年4月24日。
©Rotary International

緊急および長期的ニーズへの支援

緊急支援物資には、捜索救助車、病院用品、テント、寝袋、エアコンなどが含まれました。

トルコ国内のロータリー地区は、政府が輸送用コンテナを利用した住宅を3カ所に設置する

のを支援しました。第 2430 地区のガバナー・ミニーであるリュトフィ・カン・チュルガンさんは、地震直後から多くの企業がコンテナ製造を始めたため、高品質で手頃な価格のコンテナを探すのが大変だったと話します。幸い、被災した主要都市の一つであるアダナのロータリー会員が、信頼できる会社を紹介してくれたと言います。「おかげで、コンテナを高値で購入せずに済みました。これは、ロータリアンとして常に心がけていることです」とチュルガンさんは話します。

ロータリー会員はまた、二つのコンテナ住居エリアに水処理プラントを設置しました。「1 基 400 トンのタンクに水を集め、ポンプを使って住居へと送るシステムです」と、第 2420 地区のガバナー、メフメット・アルタイさんは話します。「このシステムで提供される水はペットボトルの水と同じ水質で、飲んだり、お茶を入れたり、料理をしたりするのに適しています」

このほかにも、移動式の歯科クリニック、仮設教室、コンピュータ寄贈などのプロジェクトが行われました。

「ロータリーは地震被災者の生活を大きく変えることができます」とアルタイさん。「私たちが設置したシステムで水を飲む人は皆、ロータリーに感謝しています。ロータリーから贈られたコンピューターで宿題をする子どもたちの生活にも変化をもたらしています。また、コンピューターが搭載された教室では、生徒たちが好きなテーマについて調べ物を行うことができます」

農業用品や農機具、家畜も重要な寄贈品です。各地区は、農民がジャガイモを収穫したり、サイレージ(牧草などの飼料を刻んで保存し、後で家畜の飼料として利用)を作るための機械を提供しました。また、種、苗、苗木、受胎した牛も寄贈され、生活の早期回復に役立っています。

「生活を維持できるように支援したいと思います。それがなければ、被災地域の人びとはほかの地域へと移ってしまうでしょう。生活の術がなく、経済的活動もなければ、ここに戻ってはこないでしょう」とチュルガンさんは話します。

アルタイさんの地区はまた、病院に小児用の心エコー装置を提供し、教育研究病院では破損した手術室の機器を交換しました。

「行えなかった脊髄や脳の手術が再び行われるようになった」とアルタイさんは話します。



2023 年の地震後、トルコの第 2420 地区と第 2440 地区から寄贈された雌牛を世話する農民のフセイン・ドゴンさん。2024 年 4 月 27 日。
©Rotary International



第 2420 地区と第 2440 地区が設置したコンテナ住居に滞在する避難した人びと。2024 年 4 月 24 日。
©Rotary International

傷ついた動物を救うためのクリニック

地震の後、傷ついたり捨てられたりしたペットを助けるため、第 2420 地区は動物クリニックを設置し、治療や手術のための機材を提供しました。クリニックのスタッフは、動物たちの不妊去勢手術や傷の手当てを行い、狂犬病(人に感染する恐れのある病気)などの予防のためにワクチン接種を行っています。また、ロータリー会員は、動物たちをクリニックに運ぶための車も寄贈しました。

「被災地を訪れた際、飼い主を失った多くの犬や猫が廃墟の中をさまよっているのを目にしました」と、アルタイさんは話します。「負傷して、緊急の治療を必要としている犬や猫もいました。このクリニックは、何千匹もの動物たちを救うことになるでしょう」

このクリニックの名称は、メキシコから寄贈され、瓦礫の中で地震の生存者を捜索中に亡くなった救助犬のプロテオ(Proteo)にちなんで名づけられました。

アルタイさんは次のように話します。「プロテオの名前とメキシコからの援助は、永遠に語り継がれることでしょう」